

## Q. 県道春日井稻沢線及び高添地区町道改修は

## A. 伊勢山交差点東側の整備は愛知県に要望していく



大口 司郎 議員

**Q** 伊勢山交差点から春日井方面に向かう一部区間の歩道整備について、都市計画マスタープランには、一部の区間について歩道部の確保等道路改良を促進します」と、記載されているが、今後どのように進めて行くのか。

高添地区町道改良工事がいよいよ本年度より平成26年を目標年次として

始まるが、南方向北名古屋市に入り、その先はどのように考えているのか。高添地区は、今後は住宅地、工業地、公共公益施設の立地の受け皿として、非常に有望な地域であり、10年先を見据えた時、重要な幹線になるのでは、と考察するが。

**A** 県道春日井稻沢線の一部区間が都市計画道路となっていないのは、名古屋空港へのアクセス道路として早期に整備促進を図る必要があったことが、伊勢山交差点までの都市計画決定の背景である。

伊勢山交差点より東の区間は、通常の道路改良により整備可能と見込まれたことが都市計画決定されなかった背景と考える。また、当該区間の今



1日も早い歩道の幅幅を

後の整備については、町内を通過する幹線道路でもあり、その時々々の交通事情に見合った適正な維持管理・整備について、管理者である愛知県に要望していく考えである。

町道53号線の現在の整備計画は、用地取得済みの区間に限ったものである。その先の計画については、「都市計画マスタープラン」の中で、道路ネット

トワークの将来の有るべき姿として明らかにしているが、具体的な整備計画は無い。

また、高添地区の将来の土地利用と町道53号線の整備とは直接的な関連は無い。あくまでも、これまででの国道41号線、県道豊山西春線の整備による、下青山地区の町道ネットワークの再構築が主な目的である。